

それが私達の
願いです。

みんな元気に「輝いて生きる」



名張育成会の「今！」がわかる

MiRAi と MiRAi report そして 輪 プログ

「MiRAi」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。
「MiRAiレポート」は、各施設からのスタッフ便り。
「Café 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUプログラム MIRAI 検索

MIRAIレポート 名張 検索

YOUプログラム RIN 検索

vol.38
2015.1.1発行

発行：名張育成会MIRAIプロジェクト
社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者：市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者：男武正基(社会福祉法人名張育成会)
編集長：佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任：新井知子(株式会社サンエイ) 題字：千秋育子

いよいよ連載開始!

～名張育成会のリアルを描いた創作物語～

いつつ星★物語 スタートです!



この物語の舞台、グループホーム「いつつ星」



おさるのモンタくん

じっとしてるのが
苦手な男の子。

こあらのラーラちゃん

なんでもゆっくり、
とっても人懐っこい女性。

リスのリスポンちゃん

コミュニケーションが苦手な
頑張り屋さん。

サイのサイゾウくん

こだわりが強い青年。
記憶することが得意。

ひつじのめ～こさん

言葉の無い人、
少女のようなおばさん。

この物語の主な登場人物…いつつ星の五人の住人

あけましておめでとうございます。今年から、より親しみを持って福祉を感じていただく物語「いつつ星物語」の連載がスタート! 担当者一同、ぜひたくさんの人に読んでいただきたいと思っています!

さかのぼること今年の初め、名張育成会内で組織される「広報委員会」メンバーが集結する広報会議で、MiRAi編集長からひとつのアイデアが提示されました。「絵本をつくってみませんか?」それを聞いた委員会メンバーの反応は人それぞれ。「なんで絵本?」「面白そう!」「小さい子に読み聞かせできたらいいな」「イメージがわからない」・・・などなど。しかし、編集長

の「もっとわかりやすく、障害を持った方も地域住人として当たり前暮らしていることを伝えたい!絵本や物語などの創作を通せば、さらに身近に感じてもらうきっかけになるはず!」という熱い思いに後押しされて、この企画の模索が始まりました。

いざ利用者さんの暮らしからエピソードを拾って始めてみる

と、その人の生きざま、支援への思いなど奥の深い議論になり、とても数行の物語として言い表せるものではないと会議は何度も壁に突き当たりました。しかし、少しずつアイデアを集め、何度も修正しながらカタチにしていこううちに方向性も見え出し、ほのぼのとした表現やイラストの絶妙なタッチも相まって、一年の歳月をかけた思いはようやく実ろうとしています。

時には少し悲しかったり、「あ、そうなんや...」とだけでも感じてもらえればとてもうれしいです。また登場者は、その5人だけでなく支援員やご近所さんはもちろん買い物先の店員さんなど、日常の暮して出会う方たちも順を追ってたくさん登場します。その内、これをご覧になっているあなたが登場するかも!

いよいよ連載を始める「いつつ星物語」・・・「夜空に輝く星のように一人ひとりがその人らしく輝いていく」という思いで付けたこのタイトルのように、この物語がみなさんに愛され、沢山の方に読み継がれ輝いていくように、これから一話一話心をこめてお送りしてまいります。

(文) 田口知恵子
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。



名張育成園の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝える「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。
詳しくは、ブログをご覧くださいね!
<http://www.you-blog.jp/blog/miraireport/>



入所生活支援(成美)

運動会

ある暖かな日「さんさん」で運動会を開催しました。まずは、入場行進。大玉転がし〜。そして職員も頑張った組み立て体操(笑)にパン食い競争と、一日をほんわかと楽しみました!

TEL:0595-65-4518 E-mail:seibi@n-ikuseien.jp
★MiRAiレポートブログの「入所支援グループ」をクリック下さい。



児童発達支援センター(どれみ)

クリスマス制作

12月にクリスマスツリーを製作しました。製作に取り組む前に、イメージが出来るようにサンタさんの絵本を読んだり、使用するアルミホイルを触ったり、クシャクシャに丸めたりして、どうい物なのかを五感を通して感じてもらいます。そして、いろいろなやり方で職員に見せてくれるながら出来上がった作品は、どれもかわいらしくて、とっても素敵でした。

TEL 0595-44-6211,0595-44-6166(相談)
E-mail:doremi@n-ikuseien.jp

★MiRAiレポートブログの「子ども支援グループ」をクリック下さい。



レインボークラブ

コクヨ工場での作業をご紹介します!!

一昨年11月より始まったコクヨ工場での作業。今回は、その工場を何を行なっているのか、簡単ですが紹介します!

作業は、デスクの引き出しの中に入れる仕切り板とトレー、そして取扱説明書の4点を袋に入れて、テープで止める作業と計量です。これを1日に平均で650個前後生産するのですよ。また毎年1月〜3月が繁忙時となっているので、メンバー、職員共々忙しい日々が続きますが、今後も頑張っていきたいと思っています。

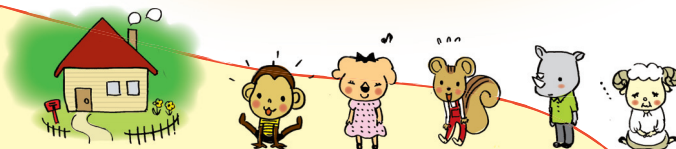
レインボークラブ(就労継続支援事業B型)
TEL:0595-67-4188 E-mail:rainbowclub@n-ikuseien.jp
★MiRAiレポートブログの「精神保健支援グループ」をクリック下さい。



いつつ星★物語

これは、グループホーム「いつつ星」の個性豊かな住人たちが、
支え合いながら、その人らしく輝いて暮らしていく物語です。

第1話



ちよっとさみしがり屋なリスボンちゃんは、
地元の特別支援学校の高等部を卒業してから、たくさんの人が
一緒に暮らす「あおぞら園」という入所施設で生活してきました。

思った事、感じたことを言葉にするのが苦手なリスボンちゃん。
優しいリスボンちゃんはいつ我慢してしまったりして、
「わかってもらえない」と思う事も多いです。
だから「あおぞら園」でひとりぼっちになったり、
ふさぎこんで今まで出来た事が出来なくなったり、
リスボンちゃんの心には
いつも大きい波、小さい波がたくさん押し寄せていました。

支援員さんたちはそんなリスボンちゃんに根気よく寄り添いました。
リスボンちゃんの理解者になろうと努力したのです。

数年が経ち、リスボンちゃんは段々と気持ちが落ち着いて、
孤独を感じる事が無くなっていきました。
そうやって気持ちが満たされることで、
リスボンちゃんは階段を一つ登りました。
そしてこんな思いが芽生えました。

「もっと自分の出来る事を増やしたい。
途中であきらめずに最後まで頑張りたい。」

そんなリスボンちゃんの変化を誰よりも感じていたのが、
ずっとそばにいて寄り添ってきた支援員さんたちでした。

リスボンちゃんはこれまで、お屋は「あおぞら園」の中にある
パッケージ作りの作業所に通っていましたが、
リスボンちゃんの気持ちを察した支援員さんの勧めもあって、
お客さんの接客もするパン工場の仕事を始める事になりました。

自立支援について

一般的に「自立」とは、他の助けなどなく自分一人の力で生活したり物事を行ったりする意味を持ちますが、私たちのいう「自立」とは、出来ないことは他の方から助けを借りながらもその人らしく暮らすことを自立といいい、潜在能力を見出したり苦手

な部分をサポートしながら、その方が望む暮らしの実現に役立つよう寄り添うことを「自立支援」と言います。また、「入所施設」や「グループホーム」は障害の程度で住み場所が変わるという事ではなく、その方がどこで、誰と暮らしたいかという

さらに「リスボンちゃん、グループホームってところで暮らしてみたくない?」と支援員さんが尋ねてくれました。

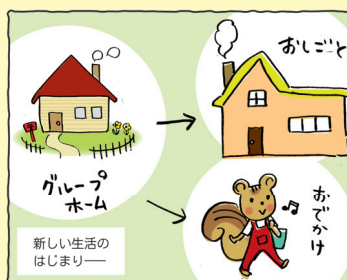
「グループホーム!!」
少人数で暮らすグループホームのことはリスボンちゃんも知っていました。

その日からリスボンちゃんは何をやるのも楽しくて頑張れるようになりました。
立ちっぱなしのパン工房のお仕事もへっちゃらです。
「真面目に仕事して、お給料もらったら、携帯電話を買いたいな。
それでお父さん、お母さんに電話しよう。」リスボンちゃんの夢はふくらみます。

そしてとうとうその日がやってきました。
「リスボンちゃん、『いつつ星』ってグループホームが新しくできたの。
もうすでに暮らし始めてる人もいるんだけど、そこへ行ってみる?」
リスボンちゃんは嬉しい半面、いざとなると、少し不安になりました。
「あおぞら園」では支援員さんもたくさんいて安心だし、
ここでの生活もすっかり慣れていたので。

でもリスボンちゃんはこう答えました。「行く、行きたい、『いつつ星』に」

リスボンちゃん、新たな旅立ちです。



監修:名張育成会広報委員会、作:田口知恵子(名張市在住)、イラスト:柴吟子(名張市在住)※この作品は著作権などで保護されています。無断複写、転載、一部流用などを禁じます。お問合せ:shiori@n-ikuseien.jp 男武まで